

第27回社会福祉研究交流集会 in 愛知

ケアを社会の柱に！ 平和を社会の基礎に！ ～いまこそ、世代も分野も超えて～

基調講演

ケアを中心とした社会への転換
～男性中心主義や生産性至上主義を問いなおす～

竹端 寛（たけばたひろし）さん

兵庫県立大学環境人間学部准教授。専門は福祉社会学、社会福祉学。

ケアを遠ざけてきた人々の背景にある男性中心主義や生産性至上主義を問いかけて研究をしておられる竹端さん。ご自身の子育てというケア経験もふくめ、ケアを中心とした社会に転換するために必要と思われることとお話いただき、参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。



とき

8月 27日（土） - 28日（日）

参加形態

オンライン（ZOOM）開催

参加費

一般 5000円 障害者・学生 3000円

日程

8/27 (土)		12:30~ 受付	13:00~ シンポジウム (第1幕) 基調講演 (竹端寛さん) シンポジウム (第2幕)	16:30~17:00 基調報告
8/28 (日)	10:00~15:00 分科会	(1) コロナ後の社会を考える (2) 社会を動かす力をつける	(3) 福祉労働の低処遇を考える (4) みんなでなやみを語ろう	(5) 実践のあゆみを知る基礎講座

ケアを社会の柱に！ 平和を社会の基礎に！

～いまこそ、世代も分野も超えて～

27 回集会では、誰もがケアを利用するにもかかわらず、いまだに軽視されているケアを社会の柱に据えて、これからの社会を描いていくためにはどうすればよいのかを考え合います。

研究交流集会各企画の概要

8月27日（土曜）

- シンポジウム（第 1 幕）「ケアを社会の柱に！ 平和を社会の基礎に！～いまこそ、世代も分野も超えて～」**
高齢、障害、保育・児童領域の現場職員に登場してもらい、ケアって一体なんだろう、を参加者のみなさんも一緒に考えます。※竹端寛さんも登壇予定

- 基調講演「ケアを中心とした社会への転換～男性中心主義や生産性至上主義を問いなおす～」**
竹端寛さんに登壇いただきます（表面参照）。シンポジウムの内容も踏まえて、ケアを中心とした社会への転換について講演いただきます。

- シンポジウム（第 2 幕）「ケアを社会の柱に！ 平和を社会の基礎に！～いまこそ、世代も分野も超えて～」**
福祉と平和は切り離せない関係ですが、それは具体的にはどうなるのでしょうか。ウクライナの問題にもふれながら、みなさんと一緒に平和について考えます。

- 基調報告「ケアと平和を基礎に～社会的合意形成に向けて～」**
シンポジウムや基調講演の内容をまとめ、2 日目の分科会につながる報告をおこないます。

8月28日（日曜）

- 分科会 1 コロナ後における、社会のグランドデザインを考えてみよう**
「福祉に働く人々の意識アンケート調査」の結果を共有し、現場職員から、「ケア」、「コロナ」、「平和」のテーマで報告してもらい、福祉現場にある問題を出し合いながら、人が人として大切にされる社会を模索します。

- 分科会 2 マスコミ、SNS、地域のつながりの力を活かす取り組み等に学ぶ～ケア（実践）を柱に、自分を変え、地域・社会を動かす力（運動）を、世代も分野も超えて共に学ぶ～**
地域や社会を動かしていく活動（運動）の担い手として、福祉労働者としての未来像を描けるように、地域や施策を変えてきた事例等に学び、世代や分野を超えた SNS、地域のつながりの力を活かした活動事例にも学び交流します。

- 分科会 3 福祉労働は人権保障の担い手なのになぜ低処遇！？～わたしたちの専門性と目指すべき公定価格を考えよう～**
現場で直面する課題と、改善の取り組みを報告いただき、それらが現場の個別要因でなく、政策的意図があることや、福祉労働の専門性と見合う公定価格水準の在り方を考えます。

- 分科会 4 みんなで悩みを話そう広場**
1 日目のシンポジウムや基調講演等の内容をもっと語りたい、実践にどうつなげたいのかわからない等、ケアを社会の柱にするためにみんなで議論して考えます。

- 基礎講座 ケア労働の実践のあゆみを考える～コロナ禍を経てケア労働への社会的評価や労働条件について考える基礎講座～**
ケア労働実践のあゆみを各分野から語っていただき、参加者とも議論しながら基礎からしっかりと学べる講座です。

お問い合わせ 総合社会福祉研究所

TEL : 06-6779-4894 FAX : 06-6779-4895

メール : mail@sosyaken.jp

ホームページ : <http://www.sosyaken.jp/>